

2021年1月号 Vol. 66 (2021年1月1日発行)

せんしゆん



千春会
SENSHUNKAI

ISO9001:2015認証取得
日本医療機能評価(3rdG:Ver.1.1)認定病院

<http://www.senshunkai.or.jp/>

千春会

検索

発行責任者：菊地 孝三



雪の洛西竹林 (京都市 西京区)

理 念 (3つの使命)

1. 患者・利用者の自立を支援し、良質な医療・看護・介護を提供する。
2. 仕事に誇りと責任を持ち、社会人としての向上を目指す。
3. 事業の充実により、住民の健康増進と地域社会の発展に寄与する。

基本方針 (5つの志)

1. 優しい心を基本とする。
2. 医療と介護の相互充実を基本とする。
3. 疾病・障害を一体的に把握し、総合的な医療・介護サービスの提供を基本とする。
4. 良好な療養環境の維持並びに向上を目指す看護・介護を基本とする。
5. 互いの立場を理解し、尊重しあう職場づくりを基本とする。

医療法人社団 千春会

新年のご挨拶



千春会病院 院長 藤原 仁史

新年明けましておめでとうございます。
新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は、世界が一変する一年でした。新型コロナウイルスの全世界での蔓延は、人々の日常生活、仕事、教育、社会の在り方を一から十まで変化させました。

医療の世界もその変化に対応せざるを得ませんでした。当初は一部の感染症対策の専門医療機関のみが、新型コロナウイルスの患者さんの対応を行って、その他の一般の医療機関では感染者を自院から遠ざける方針を選択するところがしばしばみられました。

しかし、徐々に感染者が増えていくにつれ、単に避けて通るだけではなく、いかに院内の入院患者さん、外来に通院されている一般の患者さんやスタッフを守りながら、発熱者・有症状の患者さんを受け入れて診療を続けていくかを模索してまいりました。

当院でも感染の第一波の頃については、感染防護をしながら恐る恐る診療する状況でした。しかしその後、乙訓保健所との調整を図りつつ、また内外の協力を得ながら、「外来発熱ブース」を菊地孝三理事長の指示のもとで春頃より準備にかかり、模索しながらも当院独自の発熱ブースを8月初旬より立ち上げました。発熱者・有症状者を一般の患者さんから空間的に隔離し、スタッフの安全を保ちながら対応できるよう、構造的にも運用的にも工夫をして参りました。また、外来発熱ブースの運用方法や、院内での発熱患者さんの対応方法などについて、統一した安全な対応ができるよう、毎週一度、関係者が集まったのコロナウイルス対策会議を行ってきました。スタッフの情報共有を図り、感染の波が落ち着く日まで、今後も継続して参る所存

です。これまでの職員の努力には、本当に感謝しております。

ただ、当院は透析を行うこの地域で数少ない医療機関であり、また60床の病棟をひとつだけ有する小規模病院です。万が一、院内で新型コロナウイルスの患者さんが発生・伝搬した場合、この地域で求められる役割が果たせなくなる恐れがあるため、当院は新型コロナウイルスの入院患者さんを受け入れることが難しい状況です。新型コロナウイルスと診断がなされた場合には、保健所の協力を得ながら、その患者さんには院内に入館していただくに受け入れ可能な医療機関へと転院いただくこととしており、今後もその方針は継続して参ります。

様々な介護系事業所を有する千春会法人全体としましても、新型コロナウイルス感染者の増加の現状を受けて、この感染対策を十分行う必要があります。スタッフへの研修会も含めて対応を行って参りました。地域の方々の療養生活を支援するために、患者さんや利用者さんと対面して直接介助する際には、全ての職員がマスク・ゴーグル等の防護具を使用し、手指衛生をしっかりと行って感染防御をしながら、お互いが安全にサービス提供できるよう努力しております。

「コロナ禍」と言われて、その対応に追われた年が終わり、新しい年が始まります。今年の干支の「丑(うし)」のように、粘り強さや堅実さを発揮できる年となるよう、菊地理事長の下、全職員共々に地域のための仕事を日々行っていきたくと存じます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

早期発見・早期治療のために さらに充実の内科・内視鏡検査

胃や腸に少しでも
不調や違和感を感じたら…
ぜひご相談ください

くさか としひろ

消化器内科のエキスパートである日下利広先生の診察が始まっています。
日下先生は、関西屈指の内視鏡検査・治療の技術と定評があり、特に大腸内視鏡における新しい拡大観察分類（JNET分類）の提言者のお一人として大変ご高名です。また、各種の関連学会では消化器内科医師への指導的立場で、オピニオンリーダーとしてもご活躍です。
名高い日下先生ですが、温かな笑顔が示す通りの明るいお人柄は、患者さまはじめ、職員からも大変信頼されておられます。
土曜日の午後、内視鏡検査を担当されていますので、平日は検査を受けにくい方も、安心して検査に臨めます。胃腸の不具合や検査につきまして、ぜひお気軽にご相談下さい。

ドクターご紹介

くさか としひろ 消化器内科 日下 利広 先生



ご挨拶

2019年4月から千春会病院に内科非常勤医師として勤務しております、日下 利広と申します。医師になって30年近くになりますが、その多くを消化器内科、特に消化管疾患を専門に臨床・研究に従事してまいりました。

千春会病院では、第二・第四土曜日午前の内科外来および同日午後の内視鏡検査を担当しております。曜日が限られておりますが、「胃腸の調子が悪い・胃腸の検査を受けたい」など、消化管でお悩みの方はご相談いただければと存じます。

当院での診療を通じて、微力ながら乙訓地域の方々の健康維持に貢献できる様に努力する所存ですので宜しくお願いいたします。

●外来担当日

消化器内科	第2・第4土曜日 午前診	受付時間 8:00~12:15 診察時間 9:00~12:30
内視鏡検査	第2・第4土曜日 午後診 (要予約)	【予約制】 お問い合わせ(千春会病院) ☎(075) 954-2175

【プロフィール】

【学歴】 平成 3年 大分医科大学医学部卒
平成 13年 獨協医科大学大学院卒(病理学)

【専門】 消化器内科

【職歴】
H 3.5. 京都大学医学部付属病院研修医
H 4.4. 福井赤十字病院内科研修医
H 7.4. 京都桂病院消化器センター消化器内科医員
H14.4. JR 仙台病院消化器内視鏡センター医長
H15.4. 京都大学医学部付属病院消化器内科医員
H17.5. 京都桂病院消化器センター消化器内科副部長
H22.5.~ 同 部長

【資格】 日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医・指導医、
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医・指導医

内視鏡検査で胃ガン・大腸ガンなど早期発見を！

お問い合わせ 千春会病院
☎(075) 954-2175

自覚症状が出るまでに時間のかかるのが、胃ガン・大腸ガン。少しの不調でも、早めに内視鏡検査を受けることが大切です。「苦しいのでは？」とご心配の方も多いのですが、細くなった内視鏡を用いたり、少量の眠くなるお薬を使って、楽に検査が出来るようになりました。

他にもピロリ菌や胃炎、逆流性食道炎等の有無もわかり、早期に治療が始められます。藤原院長、菊地三弥先生、菊地珠希先生、日下利広先生、山田真也先生に安心してお任せください。

●内視鏡検査担当日 〈月曜～土曜まで充実のドクターが担当〉

	月	火	水	木	金	土
午前	菊地 三弥	藤原 仁史	藤原 仁史	菊地 三弥	菊地 珠希	(第3週) 山田 真也
午後	—	—	—	—	—	(第2・4週) 日下 利広
17:30~ 18:00	—	藤原 仁史	—	—	—	—



藤原院長(右)、菊地三弥 Dr(左)、
菊地珠希 Dr(中央)と 担当 Ns

専門外来で糖尿病内科(予約制)が始まりました！
糖尿病を中心とした生活習慣病についてなど、お気軽にご相談下さい

千春会病院で令和2年11月より勤務させて頂いております^{まつがすみ まさこ}松ヶ角 真子と申します。平成21年に獨協医科大学を卒業し、京都府立医科大学に入局し、関連病院や大学病院で糖尿病の診断および治療にあたってまいりました。診療にあたり病状だけでなく患者様の性格や生活背景を理解しながら、専門医として納得していただけるよう説明・提案することを心がけております。当院では木曜日の内科一般外来と火曜日の糖尿病外来を担当しています。



まつがすみ まさこ
松ヶ角 真子 医師

外来では、糖尿病、境界型糖尿病、メタボリック症候群、脂質異常症、脂肪肝の定期検査や食事指導、運動指導、薬物治療、インスリン療法に力を入れています。

また動脈硬化を心配される方には、血管年齢検査や動脈硬化を画像診断できる頸動脈エコー検査にて対応しています。糖尿病を中心とした生活習慣病や身体に関することについて、何かお困りのことがございましたら、お気軽にご相談下さい。

長岡京市をはじめとする乙訓地域の皆様のお力になれるよう微力ながら頑張ってお参りたいと存じます。現在は子どもが小さいので、週2回の外来ですが、近々、回数を増やしたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

外来(内科)

専門外来
(糖尿病内科)

<専門>

日本内科学会
認定内科医

日本内科学会
総合内科専門医

日本糖尿病学会
糖尿病専門医

●外来担当日

内 科	木曜 午前診	受付時間 8:00~12:15	診察時間 9:00~12:30
糖尿病内科	火曜 午後診 (予約制)	受付時間 13:30~16:00	診察時間 14:00~16:30

新型コロナウイルス対応につつまして

感染防止に努めます

病院受付にサーモカメラ導入 チェック体制 強化中
病院、介護事業所全てに超高性能空気清浄機設置

法人全体で235台の空気清浄機設置

病院、各事業所の入口では検温チェックを行い、消毒用アルコールを設置。加えて病院受付にはサーモカメラを導入してチェック体制を強化し、面会制限も引き続き行っております。また、ウイルス分解・除去装置として、超高性能フィルター、光触媒で粒子や菌、ウイルス等を分解する空気清浄機を院内並びにハイパーサーミアクリニック、全介護事業所に順次設置しております。

皆さまには、ご面会等でご不自由をおかけいたしますが、出来る限りの感染防止対策を徹底してまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



超高性能空気清浄機

看護部研究発表会 開催 5演題を院内で発表



千春会病院の看護部では、毎年、研究テーマを持ち、その実践に努めています。今年度は、新型コロナウイルスへの対応を余儀なくされる中、通常業務に加え、様々に看護部の負担が増えていました。刻一刻と情勢が変化する中でしたが、患者さまに良質な看護を提供するため、「外来」「病棟」「透析」「訪問看護」「老健医務室」と、それぞれの部署が、看護における関わりと支援についての取り組みを実践し、その成果内容を発表しました。例年、多数の職員が参加する会ですが、コロナ感染予防として発表者、講評者と最小人数の参加者でしたが、いずれの発表も、患者さまを



第一とした、細やかな対応が際立つ実践報告に熱心に聴き入りました。

患者さまに対する熱い想いが、看護部ナースたちの原動力です。その想いの表れとして、それぞれに見事な発表がなされ、総評の理事長、院長からもコロナ禍にも負けず、頑張った研究成果に対し、ねぎらいの言葉と高い評価が示されました。

発表後の総評や質問を糧に、より一層研究を深めていきます。



コロナ禍の下での研究発表を称える理事長総評

日々の研鑽で良質な看護・リハビリテーションの提供を

京都桂病院 と 千春会病院の リハビリテーション交流会 開催

講師 京都桂病院 リハビリ科 原弘明 科長
千春会病院 かなむら まさし 金村 卓 副院長(整形外科) / 石井清隆先生 整形外科部長
リハビリ科 岩谷 大 統括主任、原田靖章 認定理学療法士

3回目を迎える、セラピストの学びの交流会。千春会病院と桂病院のリハビリテーション科の皆さんが集い、両病院の取り組みを相互に発表し、リハビリのさらなる充実を目指すものです。今年は集まることが出来ない状況のためオンラインソフトのZOOMを使って、各病院の研究2演題を発表しました。ZOOMでの発表交流会ではありましたが、双方向に学びを深めた有意義な交流会となりました。これからも顔の見える関係性で、連携を深め、良質なリハビリの提供で地域の方々の在宅生活をしっかり支えてまいります。



オンライン ZOOM に対応
発表中の金村副院長(右)
桂病院のリハビリ科の皆さん(左)

地域の皆さまを守るために

地域で取り組む万全な災害対策

大規模災害の備え

災害医療救護訓練 実施 千春会病院



千春会病院では、地震や台風などの大規模災害発生時に、どのような状況でも、対応できるよう、2018年から毎年、災害発生を想定した「災害医療救護訓練（院内）」を行っています。

毎年の大規模訓練に準じ、「適切なトリアージ※」を意識した想定で実施しました。

日常ではありえない危機的状況下で、病状に応じて適切な治療の優先順位を決定し、限られた医療資源を活かすためのものです。非常時の院内放送が流れるや藤原院長が災害対策本部設立を宣言。医師、看護師、コメディカル、事務と各部署が定められた役割を迅速に遂行し、優先順位を決定するトリアージゾーン、軽症者、重症者などの各ゾーンを設営し、病態対応に努めました。傷病者役の職員も迫真の演技で役割を演じ、本番さながらの現場では、刻一刻と変化する病態に緊張感が走りましたが、慌てることなく、適切、迅速に処置等の対応がなされ、臨場感あふれる訓練となりました。

日々の真剣な訓練で、万一の災害発生時にも慌てず、騒がず、適切な医療・看護の提供が出来るよう、今後もしっかりと取り組んでまいります。



運び込まれる重傷者



各部署からの報告



トリアージ(※) について

病態が共通認識できるように、識別できるトリアージ・タグを使います。



トリアージ…災害や事故などで同時発生した大量の負傷者に対して、限られた医療資源（医療スタッフ、医療機器、薬品等）で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うために、診療前に患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定することをいいます。（参照「大辞林」）

災害医療救護訓練会議 参加

かなむら まさし
金村 卓 副院長（整形外科）
きくち みつや
菊地 三弥 地域連携室長（内科）

コロナ禍につき、乙訓（長岡京市・向日市・大山崎町）の災害防災訓練も大がかりな実施が困難となりましたが、行政、消防、医療機関等が少人数で集合し、災害時における各機関の対応について、連携と協力体制強化のための対策会議が開催されました。

千春会からは金村 卓副院長（整形外科）、菊地三弥地域連携室長（内科）他が、コロナ対策のため指定の少人数で参加。災害時に乙訓地域全体では、各関係機関がどのように協力体制で取り組んでいくかの検討、情報共有等がなされました。

いかなる状況にありましても、千春会は、地域の皆さまをしっかりと守ることが出来るよう、万全の体制を構築してまいります。



金村副院長と菊地室長が代表として出席

地域の方々の健康増進をサポート

長岡京市東地域包括支援センター 主催

フレイル(加齢による心身の虚弱) 予防のための 「自分サポーター養成講座」で講演

「高齢期に気を付けたい低栄養」 谷中景子 栄養科統括主任が講演

「効果的な運動のポイント」 原田靖章 理学療法士が講演・体操

高齢になると気持ちが弱くなったり、やる気や食欲などが減少するものです。そういった「フレイル(心身の虚弱)」を何とか防ぎ、健康寿命を延ばそうと地域でも取り組みがなされています。長岡京市の東地域包括支援センターからの要望を受け、千春会から、管理栄養士と理学療法士が地域の方々に健康に役立つ講演をさせていただきました。

栄養科からは、臨床栄養師でもある谷中景子栄養科統括主任が講演。食欲や食べる量の減少で低栄養になりがちなので、バランス良く三食とることを心がけていただくこと、歯科の受診なども口腔ケアとして大切であることなど、スライドを使ってわかりやすく説明しました。常々、栄養科では、訪問栄養指導にも積極的に取り組む等、フレイル予防に努めています。



講演中の谷中統括主任

リハビリ科からはフレイル予防を目的として、日常生活の中に取り入れられ、自宅でもできる簡単で効果的な運動を行いました。フレイルチェックで自分のことを知った上で、体力



立って運動の説明をする原田理学療法士

や筋力アップが図れるよう、原田理学療法士が実際に皆さんと運動も交えて講演。特にコロナで、自宅に引きこもりがちの高齢者の方が多く、運動量も少なくなっていますが、転倒予防、寝たきり予防のためにもしっかりと体を動かしていただけるようお話ししました。アンケートの満足度も高く、半日型のデイケアが当法人にあることを知ることができて良かったという声がありました。久しぶりに参加された皆さんは、楽しそうに体を動かしておられました。やはり、一緒に運動をすると健康維持にも目が向くようで、つながりの大切さがわかります。

これからも、地域の皆さまの健康増進につながるよう、しっかりと関わってまいります。

どんな時もみんなでき、楽しく元気に

コロナに負けない体を作ろう！ みんなで楽しい遠足に行きました

保育・高齢複合施設 西山天王山
アトリエ保育園

新型コロナウイルス感染に配慮しての遠足ですが、法人が遊具提供した保育園隣接の市民公園で、仲良くお弁当を頂き、そこから少し離れたコスモス畑にお花を見に行きました。小さいながらもしっかりと足取りで、コスモス畑に到着。飲み物を頂いていると、すぐそばに JR の



コスモスの前でにっこり

列車が通過。子どもたちは、大喜びで手を振って列車の行き来を楽しんでいました。



列車に手を振る子どもたち

広い畑は、伸び伸び出来る空間です。空も空気も清々しく、きれいなお花を見て、みんなで外の活動を楽しむことが出来ました。

たくさん食べて、しっかり運動、病気に負けず、すくすく成長していただけるよう、良質な保育を提供してまいります。

歳時記
1

長岡京市自治記念式典にて
「善行表彰」授与
千春会に表彰状が授与されました



表彰状を手に 長岡京市 中小路健吾市長と(右) 菊地孝三理事長(左)

「善行表彰」として、菊地孝三理事長に長岡京市より表彰状が授与されました。

長岡京市では、毎年、地域に多大な貢献をされた方々に、その功績に感謝の気持ちを表すものとして表彰状が授与されます。

千春会では「保育・高齢複合施設 西山天王山」に隣接する長岡京市の公園を整備し、幼児が安心して遊べる、安全でカラフルな遊具を寄贈したことが、表彰の対象となりました。地域の方にも喜ばれている遊具で、楽しく遊ぶ子どもたちの姿を見ると、気持ちまで明るくなります。



表彰の皆さまと共に

これからも千春会は地域の方々にしっかり貢献してまいります。

歳時記
2

おめでとう！ 勤続10年、5年
表彰状と感謝状が贈呈されました
障がいのある市民の雇用フォーラムにて



表彰状を手に 橘さん(中央左)、八代さん(中央右)と 入谷マネージャー(右)、千賀主任(左)

鳴滝総合支援学校を卒業し、デイサービス友岡に勤務する橘 勇佑さんは、勤務10年目、介護老人保健施設 春風 勤務の八代幸平さんは、勤務5年目を迎え、2人に表彰状が贈られました。

業務補助者として体操を担当する等、積極的に利用者さまとも関わる橘さんは、「介護職員初任者研修」も勉強して合格するなど、本当に頑張り屋さんです。春風勤務の八代さんは、メンテナンスを担当しており、真面目な勤務態度やしっかりとした仕事ぶりに職員から、大変信頼されています。「毎日楽しくやりがいをもっています」と2人。マネージャーや主任も安心して仕事を任せています。



表彰状を受け取る 橘さん(左)と八代さん(右)

鳴滝総合支援学校卒業生で10年目を迎えるのは初めてで、大変喜ばしい限りです。

千春会は、今後も、障がい者の方が、いつまでも生き活きと一緒に働ける環境をさらに講じて参ります。

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。誰もが予測しえなかった出来事に翻弄された昨年。医療という業界が、「命」にこれほど関わっているとは、多くの人が気づかず、当たり前「病院」があり、当たり前医師や看護師がいて、全ての人が医療を受けられるものと。しかし、家族や友人、大切な人の命が脅かされる恐怖に遭遇し、当たり前ではない事に気づきました。社会が受けた被害は大きいですが、新春を迎え、前を向かねばなりません。

世界中の人が、震撼しながらも大切なものに気付く機会を得たことは、コロナ禍に示された人類へのプラスとして暗い気持ちを変換して。

新春に、未来へと青竹は天に伸び、木々は重い「気」を跳ね返す。何があるうとも地域と共にある千春会も、ここからまた皆さまと千の春を重ねてまいります。雪を被りながらも春を待つ、洛西の竹林のように、しなやかに…。(弘)

表紙写真…元・乙訓医師会会長、監事歴任の七岡先生ご提供

患者さまの権利と義務

当院では、次に掲げる患者さまの権利を尊重します。

- 1 患者さまは誰でも、良質な医療と良質な看護を公平に受ける権利があります。
- 2 患者さまは、医療の内容について納得できるまで十分な説明を受ける権利があります(インフォームドコンセント)。
- 3 患者さまは、他の医療機関の医療者に意見を求める権利があります(セカンドオピニオン)。
- 4 患者さまは、医師から説明を受けた治療方法など自らの意思で自由に選択し決定する権利があります。
- 5 患者さまは、ご自分の診療録など診療情報の開示を求める権利があります。
- 6 患者さまは、個人の情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

また良質な医療と看護を公平に受けていただくために、患者さまに次の義務をお願いしております。

- 1 患者さまご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にご提供ください。
- 2 十分理解できるまで質問していただき、納得した上で治療をお受けください。
- 3 患者さまおよびご家族の方々は、他の患者さまの治療や職員による医療提供の支障にならないように協力する義務があります。



日本医療機能評価機構認定病院

千春会病院

〒617-0826 京都府長岡京市開田2丁目14-26
TEL. (075)954-2175 FAX. (075)955-4615